

〈花に会いに高尾山へ〉

セッコクとイナモリソウを見に高尾山に行く。セッコクは数年前に6号路で見ているので場所は分かる。イナモリソウは露木先生にその存在を教えていただき、是非とも見たくなった花だ。どこにあるかは分からないが、事前の下調べでは6号路、3号路で見られるらしい。で、ルートは6号路から稲荷山～山頂～3号路とした。早朝の6号路は川沿いからの冷気が気持ちよく、パッチリ目が覚める。セッコクはすぐに見つかった。山道からはかなり離れているが、遠目からもすぐそれと分かった。サルオガセと共に杉の大木に着生している様はまるで深山にでもいるようだ。イナモリソウも6号路で偶然見つかった。初めて見たが予め図鑑で調べておいたので“これだ！”と確信が持てた。地面にへばりつくように、2センチほどの小さな花弁を広げていた。花弁の先は薄いピンクのフリルが入っていてカワイイ！長野から来たという方が高尾には3種類あることを教えてくれた。その一つ、3号路には“ホシザキイナモリソウ”がこもれびに当たってひっそり咲いていた。

早朝の高尾山、キビタキやサンコウチョウが鳴き、山頂ではアサギマダラの歓迎も受けた。会いたい花に出会え大満足！ まだ残っていたキイチゴを食べ帰途についた。



〈セッコク〉



〈イナモリソウ〉と〈ホシザキイナモリソウ〉